

会館だより



新年明けましておめでとございます。今年も館生の皆様、楽しく充実した会館生活を送ることができるよう、職員一同一生懸命努力して参りますので、本年も宜しくお願い致します。

昨年は元旦に石川県能登地方での「能登半島地震」が発生、元旦からシヨッキングな映像とニュースが流れ、お正月気分にはなれませんでしたね。

2月は小林製菓の「紅麴」サプリでの健康被害問題、自衛隊の事故も目立ちました。それと嫌な出来事では「闇バイト関連」での詐欺や悪質な強盗。日本は2023年の世界治安ランキングではフィンランドに次いで世界2位でしたが、

2024年には7位にランクが落ちました。それでも世界レベルでは、治安が良く安全な国ではありませんが、自己防衛にも注意が必要ですね。それと北海道では旭川市・江別市で発生した耳を疑う悲惨な事件がありました。闇バイト応募にも言えますが、本当に残念で悲しく若い人達の「短絡的で身勝手」な行動が目立つ年でもありました。

政治の世界では、相変わらず「お金」に関する話題で自民党も今回の総選挙では国民にお灸をすえられましたね。

嫌な話題が続きましたが、明るい話題では20年ぶりに新紙幣が発行され、偽造を防ぐため「3Dホログラム」を取り入れましたが、さすが日本という感じでした。

そして北海道千歳市には国家プロジェクト「ラピダス」が誕生しました。半導体不足は日本経済にも大きな影響を与えています。ラピダスの誕生で半導体不足の解消はもとより国内に限らず世界最高基準の開発が期待され、また千歳や北海道における経済効果も計り知れなく、順調にプロジェクトが進んでほしいです。

スポーツの世界ではパリ五輪で日本が海外では最多のメダル45個と大活躍でした。北海道民には女子やり投げの北口榛花選手が金メダルは特にうれしい出来事でした。

そして昨年も「大谷翔平」ですかね。ドジャース移籍後DHと走塁での大活躍そしてワールドシリーズの優勝と本人も野球に關しては良い結果を残せて

安堵していると思います。プライベートでも結婚やデコピンの話題も日本を明るくしてくれました。今年も順調にいけば「二刀流復活」が期待されませんが、もし今後サイ・ヤング賞をとるようなことになれば、まさに史上最強のベースボールプレイヤーですね。(既に最強かもしれません) ;)

さて、令和7年は「巳年」。古来より蛇は「豊穰」「金運」を司るとも言われ、何より脱皮するたびに表面の傷を治癒していくことから再生のシンボルとも言われて、巳年は「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされていますが、私たちもあやかっ努力したことが報われる、そんな勢いのある年になるとよいですね。

最後になります、今年も卒業等で退官する館

No.83
発行年月日
2025年1月吉日

北海道女子学生会館



編集者
より
ひとこと

会館では、会館ホームページで、日常風景・会館イベント情報などを発信しております。是非、ご覧ください。

<http://www.hokkaido-nadeshiko.jp>
〒060-0021
札幌市中央区北21条西15丁目
Tel 011-736-8111



令和七年一月
館長 石田信一
職員一同

2024年 クリスマス
会館から館生に
Xmasチョコのプレゼント



わたしの会館生活



札幌での生活

北海道医薬専門学校
一年 西村心愛

私は、放射線技師になりたいという夢があり、早く就職したかったため、地元を離れて北海道医薬専門学校に通うことを決めました。

最初は、宮城から北海道へと引越し、何もかもわからずに不安でした。

ただ、会館の人たちが色々教えてくれたり、新しくできた友達と遊んだりしているうちに、不安もなくなりました。

今では毎日、勉強しなければならず、大変ですが会館の生活はとても充実しています。

毎週テストがあり、勉強が大変ですが、会館の生活では朝、晩食事を作っていたので家事の時間を勉強に充てられるため、とても集中できています。

また、部屋で集中できないときは勉強できる部屋が別に設けられているので、環境を変えて集中して勉強をするのができるため、大変助かっています。

地元を離れて会館で暮らし始めて約8か月がたちました。

未だに慣れていないことや、不安なことがあります。が、周りの人たちに助けられて何とかすごしています。

感謝しありがとうございます。

地元の友達と電話すると帰りたいと思うこともありますが、今ここでやらなければならぬことを精一杯頑張りたいと思います。

また、ここでしかできない経験がいろいろあるため、ここでの生活もとても楽しく充実した生活となっています。



心の距離の近さ

武蔵女子短期大学
一年 近藤 葵

私は短期大学進学を機に、北海道女子学生会館に入館しました。

私がこの会館に決めた最初の理由は「学校から近いから」です。

実際に学校までは徒歩10分以内で行くことができます。

しかし、私はこの会館に入り移動距離の近さ以上にスタッフの皆さんの暖かさに助けられています。

私が札幌にきたてのころは慣れない土地で一人で過ごしていかなければならないという不安と、家族や友人と離れる寂しさでいっぱいでした。

しかし、そんな中でもスタッフの皆さんは優しく、会館の出入りの際に「いってらっしゃい」「おかえりなさい」を必ず言うて下さり私の居場所ができたような気持ちにさせてくれます。

また、学校から会館に戻ると人との交流はかき減りますが、事務室にお邪魔させていただく際

スタッフの方がよく話しかけてくださるので、いつもうれしです。

さらに食事の面では外部から依頼されている食堂スタッフの皆さんが、朝夕のご飯を作ってくれています。

栄養バランスの摂れた、かつ本当においしい食事、万全の体調で毎日過ごすことができ、毎日メニュー表を見ることが私の楽しみの一つです。

また、日曜を除く毎日、廊下やゴミ箱の清掃をして下さっている清掃スタッフの皆さんのおかげでキレイで快適な生活を送ることができています。



札幌は地元と全然違い、毎日がとても刺激的でこの8か月も一瞬でした。

成功することがあったり、失敗することがあったりしましたが、周りの人たちの協力により今の生活が遅れています。

あと、2年と少しありますが、これからも周りの人々への感謝を忘れずに国家試験合格をめざして頑張っていきたいと思っています。



このように、一人暮らしでは決して感じる事ができなかった居心地の良さや、アットホームな雰囲気についても支えられています。

私はこれからも会館や食堂のスタッフの皆さんへ感謝の気持ちを忘れずに日々を過ごしていきます。

これからもどうぞよろしくお祈りします。



令和6年5月、2階にスタディールームを設けました。

自分の部屋以外で時には気分を変えて勉強したくなるのでしようか。

食堂や談話室などで、そんな光景をよく見かけるので勉強部屋があるといいのかもしれないと思います。

「スタディールーム」をつくってみました。

結構好評で、毎日のように使用されております。

まだ、使ってみてくれない人、ぜひ利用してみてください。

使い方は事務室にお気軽にご相談ください。

スタディールームが出来ました。

わたしの会館生活



安心な会館生活
札幌北高校
一年 小西 麦歩

私は高校では勉強を中心に取り組み、将来の選択肢を広げたいと思い、札幌北高校に進学しました。はじめは会館の生活に慣れないことも多く不安もありましたが、会館の職員の方たちが声をかけてくださったり、わから



感謝を感じる生活
札幌国際情報高校
一年 條々 美結

私は小学校時からずっと華道を続けています。そして高校では今までと違う環境でもっとたくさんのご経験をしたいという思いや、大会などに出場して視野を広げたいという考えから、地元を出て華道部のある国際情報高校に、進学

ないことを教えていただいたりして次第になれることができました。勉強と部活とで毎日忙しいですが、家族や友達、会館の方々に支えてもらい、充実して過ごすことができています。部活では陸上部に所属しており週に5日ほど活動しています。

練習で帰りが遅くなってしまうことも連絡をしたら食事をとっておいでもらえるので夕食の時間の心配なく練習に参加できています。また、平日だけでなく休日も食事ができるし、昼食が必要な時は前日に依頼すればおにぎりやお弁当など作ってもら

えるので、勉強や部活に集中することができそうです。札幌に来てすぐに風邪をひいてしまったときには、部屋まで食事を運んでくれたり病院にいくかどうかの相談などもしてくださり、不安でしたが安心して過ごすことができました。

学生会館の生活を通して新たに経験し、学び、自分自身を成長させることができていると感じています。周囲の支えてくれる人への感謝の気持ち忘れずに、高校生活を送っていききたいと思います。

することを決めました。国際交流や英語の学習に力を入れていたことも国際情報高校に進学した理由の一つです。

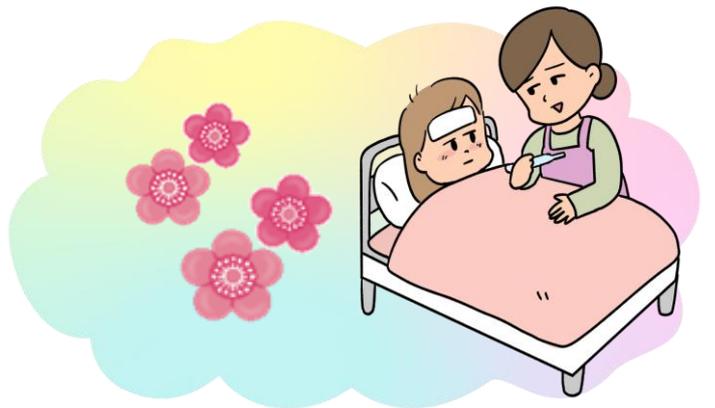
札幌に来てすぐのころは慣れない生活環境や新しい学校生活、家族や友達が近くにいない不安や寂しさから、札幌に来なければよかったですかと思うこともありました。

でも会館の方がいろいろと助けてくださったたり、クラスや部活でできた友達と話をしたり、親と電話したりしながら、少しずつ生活に慣れていくことができました。今はとても楽しく生活しています。

私は華道部に入学してから1年もたつていませんが、いろいろなことを体験させてくれたり、教えてくれる先輩や先生がいて、私は本当に恵まれているといつも感じています。そしてこの良い環境で生活させてくれ、お金や時間をかけてサポートしてくれる母や父には感謝してもしきれません。

札幌に来てことで家族がどれだけ私のことを支えてくれていたのか助けてくれているのかを感じることができません。

高校は中学校に比べてとても忙しいし、勉強も難しいです。



札幌での生活は大変だと感じることも、地元に戻りたいと思うこともありそうです。でも、忙しい分、充実しているし、地元に残ったままではできなかったことも部活以外でもたくさん経験することができています。

これからも周りの人や環境に感謝しながら、部活や勉強、行事などに精一杯全力で取り組んでいきたいです。



食堂リニューアル

4月から食堂運営がホクシヨクさんになりました。美味しさはもちろんのことメニューも豊富で、月に一度の特別食には「冷麺&キンパー」や「手毬寿司」、土用の丑の日には「ウナギ」のサービスもありました。

毎日の朝食バイキングがこれまた好評でポリューム満点♡と館生に人気です。お昼のお弁当やおにぎりも具材が豊富でとても好評です。





秋のイベント
フルーツ狩りと小樽散策

天候にも恵まれ
楽しい日を
過ごしました♡



次回をお楽しみに！
★会館HPもぜひご覧ください★
「北海道女子学生会館」で検索！